

# 食品・飲料メーカー用 良否判断画像AIソリューション

## 目視検査で次のような御悩み事はありませんか？

-  検査工程における人件費削減、ノウハウ継承に問題がある。
-  検査員によって判断基準のばらつきがある。
-  従来の画像検査装置では困難なあいまいな判定ができず、困っている。

→画像AIの導入で外観検査の自動化、  
お客様の業務効率化に貢献します！

### □ 特徴

AIであいまいな良否を判定

AIを用いた画像検査装置では食品の色ムラや焼きムラなどの判断基準があいまいな不良の判定に最適。

→認識精度が従来の画像検査に比べ、大幅に向上  
→目視検査の人員削減に貢献

判定最適化で品質を一定に

あいまいな不良については目視となることが多く、見る人により判定基準にばらつきがある。

→判定のばらつきを軽減し、品質の一定化に貢献

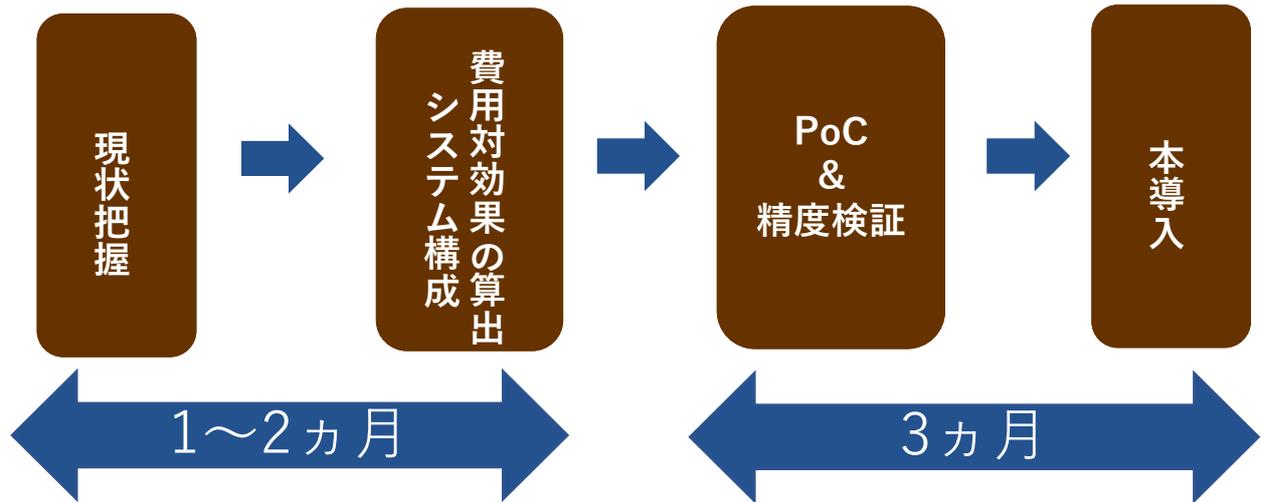
初期投資を抑える

少ない画像データ（教師データ）でAIが作成可能。  
また、既存設備の流用により初期投資を抑えることが可能です。

→画像200枚から可能



## □ 導入イメージ



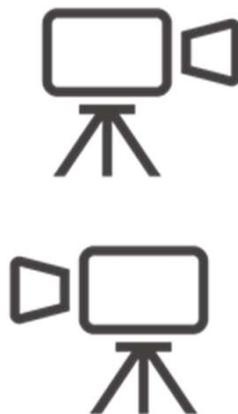
## □ 製品活用イメージ（焼きムラの判定）

食品の見た目は一般消費者が直接目にするため、非常に厳しい検査基準があり、また、色ムラや焼きムラといった不良は判断基準があいまいなため、人の目による判断が行われています

## MindhiveのAI導入



- ・ あいまいな判定の精度向上
- ・ 目視検査員の人員を削減



下記までお問い合わせください

 **RIKEI CORPORATION**

ビジネスイノベーション部  
データ解析グループ

Mail : rikei-iot@rikei.co.jp  
URL : <https://www.rikei.co.jp>  
TEL : 03-3345-2170  
FAX : 03-3345-2167